

鳥取市歴史博物館
令和元年度 企画展



鳥取市佐治町には
「し」がつく5つの宝、
「5し」があります。
「5しの里」として知られる
佐治の歴史や文化を
紹介いたします。

星



写真「夏の夜の川」(平成31年4月撮影)
鳥取市さじアストロパーク 蔵

石



佐治川石
鳥取市役所佐治町総合支所 蔵

佐治の名品

鳥取市佐治歴史民俗資料館
収蔵資料展示

話



鳥取市無形民俗文化財「佐治谷話」の様子
(さじ民話会提供)

和紙



因州佐治手漉和紙
(純三極半紙)
因州和紙伝承工房
かみんくさじ 蔵

梨



ラベル「二十世紀梨」個人 蔵

令和2年(2020)

1月18日土~3月22日日

鳥取市歴史博物館 1階特別展示室

【観覧時間】午前9時~午後5時(最終入館は午後4時30分)

【休館日】令和2年(2020)1/20(月)・27(月)

2/3(月)・10(月)・12(水)・17(月)・25(火)・3月2日(月)・9日(月)・16日(月)

【観覧料】無料(常設展示は別途観覧料が必要です。)

鳥取市歴史博物館

〒680-0015 鳥取市上町88番地

TEL.0857-23-2140 FAX.0857-23-2149

URL <http://www.tbz.or.jp/yamabikokan/>

【主催】公益財団法人 鳥取市文化財団 鳥取市歴史博物館
【共催】鳥取市教育委員会

【後援】朝日新聞鳥取支局、共同通信社鳥取支局、山陰中央新報社、
新日本海新聞社、中国新聞鳥取支局、
毎日新聞鳥取支局、読売新聞鳥取支局、いなばびんぼんネット、
NHK鳥取放送局、TSK山陰中央テレビ、日本海テレビ、
日本海ケーブルネットワーク、BS5山陰放送、エフエム山陰、FM鳥取



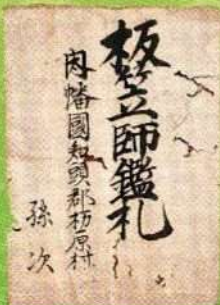
主な展示資料紹介(一部)



国登録有形民俗文化財「板笠」
鳥取市佐治歴史民俗資料館蔵



辰巳峠植物化石(ムカシブナ)
鳥取市佐治歴史民俗資料館蔵



国登録有形民俗文化財
「板笠師鑑札」
鳥取市佐治歴史民俗資料館蔵



辰巳峠植物化石(ムカシヌカラムツ)
鳥取市佐治歴史民俗資料館蔵



辰巳峠植物化石(シキシマナラ)
鳥取市佐治歴史民俗資料館蔵



鳥取市指定有形民俗文化財 佐治の漆掻き用具
鳥取市佐治歴史民俗資料館蔵

オープニング セレモニー

参加無料 予約不要

日時 令和2年1月18日(土)
10:00~12:00

会場 鳥取市歴史博物館
1階ロビー+特別展示室

関係者によるテープカット後、さじ民話会による「佐治谷話」、展示担当学芸員による展示解説を行います。



展覧会講座「民具から見た 佐治の特色ある暮らし ～板笠など山村生産用具～」

参加無料 予約不要(先着50名)

日時 令和2年2月16日(日)
14:00~15:30

会場 鳥取市歴史博物館 地下1階
常設展示室フリースペース

講師 鳥取県地域づくり推進部文化財局文化財課
文化財主事 櫻村 賢二氏

「佐治の民具」を調査された専門家の視点でその特徴をわかりやすく説明していただきます。

佐治谷話+ ギャラリートーク(展示解説)

参加無料 予約不要

日時 令和2年1月26日(日)
2月23日(日・祝)+3月8日(日)
3月20日(金・祝) 14:00~15:30

会場 鳥取市歴史博物館 1階特別展示室

話者 さじ民話会
鳥取市歴史博物館展示担当学芸員
さじ民話会による「佐治谷話」のあと、展示担当学芸員による展示解説を行います。

※佐治谷話は毎回内容が異なります。



おうちだにアカデミー

「近世大名池田家と武家の官位」

参加無料 予約不要(先着40名)

日時 令和2年1月25日(土)
14:00~15:00

会場 鳥取市歴史博物館 地下1階
常設展示室 フリースペース

講師 鳥取市歴史博物館 千葉 拓真

「一字一石塔ができるまで 千代川水難供養塔について」

参加無料 予約不要(先着40名)

日時 令和2年2月22日(土)
14:00~15:00

会場 鳥取市歴史博物館 地下1階
常設展示室 フリースペース

講師 鳥取市歴史博物館 伊藤 康晴

佐治の歴史や
文化を学ぼう!

「佐治学」

参加無料 予約不要(先着40名)

日時 令和2年3月21日(土)
14:00~15:30

会場 鳥取市歴史博物館 地下1階
常設展示室 フリースペース

講師 鳥取市歴史博物館 展示担当学芸員



ことり舎 映画上映会

参加無料 予約不要(先着40名)

日時 令和2年3月22日(日)
10:30~ / 14:00~

会場 鳥取市歴史博物館 地下1階
常設展示室 フリースペース

協力:ことり舎/「浜村温泉湯けむり映画塾」をはじめ、鳥取市気高町を拠点に「創る人」と「地域」をつなぐ活動をしています。
上映映画:浜村温泉湯けむり映画塾2019作品
「拝啓 砂の国より 第一話」ほか2本
※午前・午後、同じものを上映します。

おもてなしイベント

参加無料 予約不要(先着100名)

日時 令和2年3月21日(土)
22日(日) 10:00~

この両日は全館入館無料!

会場 鳥取市歴史博物館
エントランス

自然豊かな樟園公園を眺めながら、ホッと一息つきませんか?やまびこ館からのささやかな「おもてなし」をどうぞお茶・お菓子をお召し上がりください!※なくなり次第終了します。

ほっと一息
つきませんか?



鳥取市歴史博物館・鳥取県史 編さん室共同事業「占領期の 鳥取を学ぶ会」令和元年度 報告会

参加無料 予約不要(先着60名)

日時 令和2年3月14日(土)
13:30~16:00

会場 鳥取市歴史博物館 地下1階
常設展示室 フリースペース

「占領期の鳥取を学ぶ会」の開始から3年を迎えます。今年度の活動と成果を報告します。
※令和2年1月18日(土)・2月15日(土)は通常通り、例会を実施します。



鳥取市佐治歴史民俗資料館
収蔵資料展示

佐治

鳥取市歴史博物館 令和元年度企画展

令和2年(2020)

1月18日(土) ... 3月22日(日)

佐治町の概要

鳥取市佐治町は、鳥取市の南側に位置し、人口約1,813人(令和2年1月1日現在)、東西は16.6km・南北は8.5km、総面積80.73km²、面積の80%以上が山林原野の細長い山間地域です。岡山県と国道482号によって繋がりと、鳥取市の南の玄関口となっています。

主要産業は二十世紀梨の栽培と因州和紙の生産などであり、さじアストロパークや因州和紙伝統工房かみんぐさじは観光地として有名です。また、「星(ほし)」・「梨(なし)」・「和紙(わし)」・「話(はなし)」・「石(いし)」を地域資源として活用し、「5しの里」としての地域づくりに取り組んでいることで知られています。

その佐治町の歴史をさかのぼると、縄文時代や古墳時代の遺物が出土するなど、古くから人々が生活をしてきたことが分かっています。平安時代～鎌倉時代には、佐治氏が開発を進めていったようです。江戸時代には鳥取藩池田家の領地となり、佐治は智頭郡の一地域として明治時代を迎えます。

明治4年(1871)の廃藩置県により鳥取県智頭郡となり、島根県時代(明治9～14年)を経て、市制・町村制により同22年、「口佐治」「中佐治」「上佐治」3ヶ村が成立しました。同29年には、智頭郡・八上郡・八東郡が合併し八頭郡となり、佐治はその所管となります。同43年、口佐治村・中佐治村・上佐治村が合併し佐治村が成立、村役場は佐治町加瀬木に置かれ、今の佐治町と同じ領域となりました。当時の人口は4,390名でした。

産業の発展等とともに人口は増え、昭和25年(1950)には5,467名を数えます。同47年には村民憲章が制定され、翌年には「こぶし」を村の花、「とち」を村の木と決め、佐治村民としての誇りをもち住みよい村づくりを進めていきました。平成16年(2004)11月、鳥取市と合併し今日に至っています。

主催:公益財団法人 鳥取市文化財団 鳥取市歴史博物館

共催:鳥取市教育委員会

後援:朝日新聞鳥取総局、共同通信社鳥取支局、山陰中央新報社、

新日本海新聞社、中国新聞鳥取支局、毎日新聞鳥取支局、読売新聞鳥取支局、いなばびよんびよんネット、NHK鳥取放送局、TSK山陰中央テレビ、日本海テレビ、日本海ケーブルネットワーク、BSS山陰放送、エフエム山陰、FM鳥取

鳥取市歴史博物館

〒680-0015 鳥取県鳥取市上町88番地
TEL0857-23-2140 FAX0857-23-2149
http://www.tbz.or.jp/yamabikokan/

「5し」の里として広く知られる鳥取市佐治町
その歴史と文化をご紹介します



ラベル「二十世紀梨」

個人蔵

佐治町の佐治川沿いの傾斜地では二十世紀梨が栽培され、ほかの品種もふくめて県内有数の梨の生産地です。

佐治町での梨の生産は、佐治町高山において明治44年(1911)にはじまったとされ、「長十郎」や「二十世紀」の品種の栽培が行われました。「梨が私たちの暮らしを支える大きな柱であることに感謝し、誇りをもつもの」として、平成16年(2004)には「顕彰郷梨」の記念碑が佐治町内に建てられています。

なし

佐治谷話

さじ民話会提供

佐治谷話は、日本三大おろか話の一つに挙げられる民話です。

全78話が語り伝えられていますが、多くは世間知らずや常識知らずのユーモラスな話となっています。なかには、佐治谷の人が、「とんち」で町の者たちに一泡吹かせる痛快な話もあります。代表的な話は、「かにのふんどし」「きじとからす」「だんご」です。

鳥取市の無形民俗文化財に指定(平成16年)され、さじ民話会がその活動を行っています。



ほし SAJI

「5し」の紹介

写真「夏の天の川」

(平成31年4月撮影)

鳥取市さじアストロパーク蔵

平成29年(2017)に鳥取県が公布した鳥取県星空保全条例の前文に「鳥取市さじアストロパークなどの観測拠点が星空の美しさで我が国随一」と記されるとおり、佐治町では美しい星空が見え、広大な宇宙に包まれた気分が味わえます。

その拠点施設の鳥取市さじアストロパークは、平成6年7月に開館しました。口径103cm反射望遠鏡、プラネタリウム、宿泊施設等がある国内有数の公開天文台です。



佐治川石

鳥取市佐治町総合支所蔵

佐治川石は、日本三大名石の一つにあげられます。佐治川流域には河川争奪により河岸段丘や急崖地形が発達し、穿入蛇行地形やV字谷が見られます。緑泥石千枚岩の風化や浸食によって形成された岩石がみられ、それらを佐治川石といいます。

佐治川石の特徴は、①硬い、②黒黒色または青黒色で美しい、③綺麗な凹凸がみられる、などがあげられます。大正後期以降、好事家たちの間で庭石や水石として珍重され全国的に知られる存在になっていきます。戦後の高度経済成長期には大衆化し、さらに人気が高まっていきました。その反面、佐治川石の乱採が目立ったため、現在、佐治川周辺は自然環境保全地域に指定され、特に同町森坪から同町余戸の間は同地域の特別地区として鳥取県自然環境保全条例で保護されています(昭和49年)。

因州佐治手漉和紙

(純三極半紙)

因州和紙伝統工房 かみんぐさじ蔵

鳥取市佐治町は因州和紙の産地です。紙質が丈夫で、墨色が鮮明なことから、高級書道紙などに愛用されています。

江戸時代前期に著された「因幡民談記」には、佐治各地でさまざまな紙が漉かれていることが記され、すでに佐治における紙業ははじまっていたことがわかります。

現在、「因州佐治みつまた紙」は鳥取県無形文化財に指定され(昭和51年(1976))、因州筆さけず保存会によって、その活動が行われています。

佐治の三稜栽培は、江戸後期にはじまりますが、本格的に三稜紙が漉かれるようになるのは明治中期の技術改良後のこととなります。



わし

佐治町余戸の鳥井原にみられる球質千枚岩が、
曲した地層のことで、稲田とは「地層の屈曲
状態」のことをい、もともと水平な地層に
の圧力が加わった結果、地層が波状に曲がる
をいいます。厚さ2〜3cmの岩石が数mmの
部分をはさんでいくつも積み重なり、層の
うに曲がりくねった層がみられていること
から、硬い岩石が地球の内圧力により大きく
曲げられていることがわかります。



皇指定・無形民俗文化財
余戸の雨乞踊
 佐伯市余戸の雨乞踊は、早稲がた
 けの際に古くより、雨に恵まれた
 とに感謝するために行なわれる
 祭事です。約100名の踊者が、
 行列をなす。約2時間、同地区
 の18種類の踊りが行われます。
 詳しい記録には行方不明となっ
 っていますが、同地区の金山山
 荘の民芸資料館（京都）に出土
 した、持ち廻り足元などから推
 定、この踊りは、御寺で舞われ
 たもの、流れを及ぼす舞の形を
 を伝えるものとされます。



国登録文化財
佐治の板笠製作用具
及び製品

飯笥は、山や畑の仕事をする際に雨風や太陽の日差しを防ぐため、人の頭に掛けて結びつけて使います。佐治の飯笥は、岡岡川に生ずる「トウカツヅル」うりえぐしの木を材料にして、編み込みをされた丈夫で六角形の笠です。骨組みを持たないため、文夫でありながら、しなやかに軽くかつ耐震です。黒取市佐治町の中・病院を中心に作られました。すくなくとも、江戸時代前期から昭和30年(1955)頃まで、佐治の重要な産業として生産がなされてきました。因幡地方はもとより、信濃地方、辰巳峠を越えて奥外は岡山方面にまで出荷されたといま



鳥取市河原町



市指定 無形民俗文化財
大黒舞踊り

佐治町津無に伝えられる大黒舞おどりは、
唄とともに伝わった庶民の踊りです。大黒
姫とともに飯森山へ散歩に出たこと、洋
そのお遊覧のために集まって踊ったこと
とる言ひ伝えもあります。大黒舞踊り
テンポと素朴さにて特徴があります。翻
せて、豊年を祝い喜びあう庶民の素朴な情
かに表現されています。単調に見えるが豊
れ、祝い言葉で盛りれた歌謡の持つ意味
でたい踊りであることがわかります。



佐治町加茂にあり二重台座に載せられた庚申塔です。庚申とは、中国の道教に由来する考えで、人々の世に不老長寿を招く「三尸虫」という三種類の虫が、日毎に日暮で60日に一度めぐってくる「庚申の日」に天に行き、帝釈天に人間の悪事を命を縮めようとすると考えられます。この庚申の日には、寝ずに集まって敬虔したとされ、この庚申塔ともいわれます。庚申塔とは、その集まりを3年18回続けたいと建てたといわれる面には「奉納文政元年六月吉日出生しに神部馬島」背面には「奉納四国八十八ヶ所成年者遍路、余戸村安兵衛」と刻まれます。鳥取市河原町神馬出身の行者が佐治町余戸に来て、番附をもって建立したものと伝えられており、却の西面には阿弥陀仏や大日如来のほか、前不勝明王などの密教の刻が施されています。当地の民間信仰の在り方の多様性を伝えています。



市指定 保護文化財
りんせんじのやまもんかねろう
林泉寺の山門鐘楼

佐治町高山の林永寺にある山門鐘樓です。同寺は、正保4年(1647)に同町福富から同町高山(現在の地とは異なる)に移転、元禄元年(1688)には梵僧が建造された。この山門鐘樓は、その際に建てられたとされます。同寺は、寛保2年(1742)に火災に遭いますが、この山門鐘樓は期せず免れたとされ、翌3年、同寺が町内に転移する際に移築したとされます。この山門鐘樓は、木と鐘撞きの役割を兼ね、横2.3m・縦2.42m・高7.2m、構造は茅葺2階建、2階部分に縁がはみわたる様式になっています。



市指定 史跡
佐治四郎の遺跡



市指定 杉形民俗文化財

うるし しかきの用具

佐治において漆産地と際を利用して造られてきた。漆は落葉常木で、そこから採取した漆液を精製した塗料となることができ、また、漆の種子からは木炭が得られ、ささぎの原料ともなる。漆の産地としては、全国的には青森県、山形県、福島県が知られていますが、ここ鳥取県も漆の産地として全国的に有名なで、その中心は佐治でした。佐治における漆は、寛文年間（1661～1673）の記録があるところから、すでに盛んな生産がはじまっていたと推測されます。江戸時代末期、佐治の属する豊前郡漆の生産量は3800貫ほど（1425石）で、そのほとんどが佐治の算出だとなぜされ、佐治には漆の木が1万本程ありたとされ、近現代に入った昭和戦前期間における佐治の漆の生産量は、年産200貫（750石）を誇りました。戦後の昭和25年（1950）当時、漆一貫二貫113.3、2.5、6千円とこれに米一石が65円の時代、大きな収入源となり、佐治の重要な産業でした。また、佐治漆は質にも優れ、全国的な存在が知られていました。

No.	指 定 種 別	名 称	指定年月日	所在・所蔵等	
1	国登録文化財	有形文化財	佐治の板壁製作用具及び製品	平成22年(2010)3月11日	鳥取市佐治町福園
2	県指定文化財	無形文化財	因州佐治みつまた紙	昭和51年(1976)8月3日	鳥取市佐治町加瀬木、大井、河地、高山、津無、加茂、春日、河本
3	県指定文化財	無形民俗文化財	余戸の雨乞踊	昭和49年(1974)10月18日	鳥取市佐治町余戸・河本
4	県指定文化財	無形民俗文化財	細尾の獅子舞	昭和49年(1974)10月18日	鳥取市佐治町細尾
5	県指定文化財	無形民俗文化財	口佐治神社の獅子舞	平成9年(1997)2月28日	鳥取市佐治町古市
6	県指定文化財	天然記念物	田岡神社のツバキ樹林	昭和48年(1973)3月30日	鳥取市佐治町津無
7	県指定文化財	天然記念物	辰巳峠の植物化石産出層	平成14年(2002)12月21日	鳥取市佐治町栃原
8	市指定文化財	保護文化財	林泉寺の山門鐘楼	昭和53年(1978)3月6日	鳥取市佐治町高山
9	市指定文化財	保護文化財	笹尾神社の薬師堂	昭和55年(1980)4月8日	鳥取市佐治町加瀬木
10	市指定文化財	保護文化財	絹本著色釈迦十六善神の図	昭和55年(1980)4月8日	鳥取市佐治町大井 昌福寺
11	市指定文化財	保護文化財	木造薬師如来坐像	昭和55年(1980)4月8日	鳥取市佐治町加瀬木 福智寺
12	市指定文化財	有形民俗文化財	うるしかきの用具	昭和53年(1978)3月6日	鳥取市佐治町福園
13	市指定文化財	無形民俗文化財	センス踊り	昭和46年(1971)8月31日	鳥取市佐治町刈地

No.	指 定 種 別	名 称	指定年月日	所在・所蔵等	
14	市指定文化財	無形民俗文化財	大黒舞踊り	昭和46年(1971)8月31日	鳥取市佐治町津無
15	市指定文化財	無形民俗文化財	加瀬木の当渡し	昭和46年(1971)8月31日	鳥取市佐治町加瀬木
16	市指定文化財	無形民俗文化財	佐治谷話	平成16年(2004)10月22日	さじ民話会、鳥取市佐治町福園
17	市指定文化財	史跡	佐治四郎の遺跡	昭和46年(1971)8月31日	鳥取市佐治町刈地
18	市指定文化財	史跡	熊野神社とその附近	昭和46年(1971)8月31日	鳥取市佐治町大井
19	市指定文化財	史跡	山内与四郎左衛門の遺跡	昭和46年(1971)8月31日	鳥取市佐治町余戸
20	市指定文化財	史跡	絳塚の跡	昭和46年(1971)8月31日	鳥取市佐治町大井
21	市指定文化財	史跡	大木の庚申塔	昭和53年(1978)3月6日	鳥取市佐治町加茂
22	市指定文化財	天然記念物	西尾家の大キリシマ	昭和46年(1971)8月31日	鳥取市佐治町津無
23	市指定文化財	天然記念物	鳥居原の榎曲	昭和46年(1971)8月31日	鳥取市佐治町余戸
24	市指定文化財	天然記念物	山王谷の門橋	昭和53年(1978)3月6日	鳥取市佐治町中
25	県選択文化財	無形民俗文化財	花籠祭 はなごころまつり	平成24年(2012)11月6日	鳥取市(用瀬町・佐治町・河原町)・ 八頭郡(八頭町・八頭郡智頭町)